

動物學雜誌

(第三十四卷) 第四百六號

大正十一年八月十五日發行

報 文

日本産アリマキの新屬新種 (第二報文)

(大正十一年五月十八日受領)

ドクトル、オウ、
フロソフ、イ、 進 士 織 平

十、マツアオアリマキ (新稱) (第十一圖)

Tachinus longicornis SHINJI n. sp.

特徴 || 本種は *T. piniifoliae* DAVIDSON 種に似て體長く濃綠色なり。觸角の各節は長毛を俱へ、其第三節は他節よりも長くして凡そ十四個の大なる圓狀知覺孔を俱へ、第四節は第五節よりも短くして約七本の長き毛を有し且つ末端には一個の圓狀知覺孔あり、第五節は凡そ八本の長毛と一個の知覺孔とを俱へたり。六肢及び頭胸部は概して黒色にして腹部なる蜜管の基には黒色の斑紋あり。

宿主植物 || クロマツ、マカマツ。

採集時日 || 大正八年九月及大正十年五月一日。

採集場所 || 静岡縣堀之内、宮崎縣都城。

十一、マツアカアリマキ (新稱)

Tachinus inflatus SHINJI n. sp.

特徴 || 本種は *Tachinus tarifoliae* SWAIN に似たり、然し余が在加大學當時 SWAIN 氏と共に採集せるものと本種

とは多くの點に於て異なる故に茲に新種として擧げたり。體赤褐乃至黒褐色を帯び、觸角は第三節の基部略三分の一弱を除く外全部黒色にして有毛、第三節は第四第五兩節の和と略等長にして四個の圓形なる知覺孔を俱へ第四第五兩節は略等長なり。

宿主植物 || クロマツ。

採集時日 || 大正八年五月及大正十年四月廿日。

採集地方 || 静岡縣堀之内、宮崎縣都城

Tachinaphis SHINJI n. sp.

特徴 || 體扁平にしてテントウムシの如く圓く、無翅蟲の觸角の第三節は第四節の略二倍長く、第五節は第四節よりも長く、第六節の基部と線端部とは約等長なり。口嘴は極めて短くして第二肢の基部にも達せず、蜜槽また短くして梯形をなせり。

十二、ヨモギツチヨセアリマキ (新稱)

Tachinaphis yomogi SHINJI n. sp.

特徴 II 體黄色又は淡黄色にして扁平なり。無翅蟲にありては觸角體よりも短く、第三節は第四節の略二倍長あり、また第五節は第四節よりも長く、第六節の後半部と前半部とは殆ど等長なり。口嘴は短くして僅かに第二肢の基節に達するに過ぎず、尾端は三角形をなして黒く、蜜管は梯形にして附節よりも短し。

宿主植物 II ヨモギ。

採集時日 II 大正十年五月三十日、

發生地方 II 宮崎縣都城。

附 記 II 本種はヨモギの地下又は地上莖に寄生し、其周圍に土砂を集めて一種の巢を造るの習慣あり。有翅蟲のよき標本を破損せしを以て無翅蟲のみに就て記述せり。

Pseudolachnus SHINJI n. g.

特徴 II 葉に一種の樹瘻を營みて寄生す。體小にして、觸角六節よりなり、第三節は第四第五兩節及び第六節の基部との和と略等長、第四節は第五節よりも長く、第六節の線端部は基部の略二倍長あり。胴部は上面に黒斑を缺き、蜜槽短小なり。

十三、ヨモギアリマキ (新稱) (第十一、十二圖)

Pseudolachnus yomogi SHINJI n. sp.

特徴 II 體小にして赤褐色を帯び、葉面を卷縮して一種の蟲瘻を營む。觸角は薄黒くして其第三節は凡そ十四個の不規則なる小圓知覺孔を有して第四第五及び第六節の基半部の和と等長、第四第五兩節は順次に短くして且つ

各一個の小圓知覺孔を有し、第六節の後半部は基部の略二倍あり。

宿主植物 II ヨモギ。

採集時日 II 大正九年六月三日。

採集地方 II 靜岡、長野、宮崎、鹿児島。

十四、カバブチアリマキ (新稱) (第十三圖)

Enceraphis betulifoliae SHIJI n. sp.

特徴 II 體淡黄色にして大、翅脈黒色、復眼黒色、腿部の後半部及び脛節黒色を帯び、頭部の側縁には一條の黒線あり。蜜槽黒くして長さ幅の三倍あり。尾端は黒色を呈して稍長く、觸角は體長の一倍半以上ありて其第三節は第四第五兩節を合せたるものと等長にして第四節は第五節よりも長くして且つ後半部霞み、第五節は薄黒し、第六節の後半部は基部の二倍長あり。

宿主植物 II カバ。

採集時日 II 大正九年八月三日。

採集地方 II 長野縣中城附近。

Sarcocallis SHINJI n. g.

特徴 II 體に硬毛あり、前翅の翅紋及諸脈霞めり。口嘴の尖端は後肢の基部に達し、觸角は六節より成りて其第三節は第四節よりも長く、第四節は第五節の略等長、第六節の後端部は基部と殆んど等長なり、前中兩肢は體色にして後肢のみ黒色を帯ぶ。蜜槽は短くして梯形を呈す。

十五、サルスベリアリマキ (新稱) (第十四、第十五圖)

特徴||倭小にして扁平且つ黄と黒とを以て美しく彩られたり。前肢の翅紋 翅紋脈及び第一第二第三斜脈は薄黒く霞めり。觸角の第三節は十一個の橢圓狀知覺孔を有し、第四第五兩節は略等長にして末端黒色を帯び、第六節の基端兩部は等長にして黒色なり。前肢は全部黒色なれども中、後肢の上、下兩腿部の上半部は黒色なり。腹部には上面及び側部に黒色の斑點あり。

第三節三一一 第四節四一四 第六節五六一六

宿主植物||サルスベリ (百日紅)。

採集時日||大正八年六月一日及十月二十日。

採集場所||東京、宮崎縣都城。

Yelocallis SHINJI n. g.

特徴||前翅の紋及び斜脈の末端附近黒く霞めり。頭胸兩部は眞黒にして腹部は體色なり。胸部及び第一第二腹節には各一雙の鞍様突起體あり。觸角の第三節は第四第五兩節の和と略等長、第四節は第五節よりも僅かに短く、第六節の線端部は第五節よりも長し。

十六、ハンノキブチャブラ (新稱) (第十六圖)

Yelocallis unifolia SHINJI n. sp.

特徴||體淡黄色の倭小種。頭胸部黒色にして光輝あり。觸角の第一第二兩節は黒色、第三節には凡そ九個の知覺孔其基半部にありて稍黒く、第四第五兩節は略等長にして末端黒く、第六節の基半部は線端部と殆んど等長なり。前、中肢は黄色なれども後肢には黒き部分あり。前中兩

胸部には黒色の鞍狀隆起體各一雙づゝあり、前翅の翅紋及び各翅脈は翅縁に近く曇れり。

宿主植物||カハラハンノキ。

採集時日||大正九年九月二十八日。

採集場所||宮崎縣都城町。

十七、ナラオナガアリマキ (新稱) (第十七圖)

Prodena narafukia SHINJI n. sp.

特徴||體は *Galliphrina* のものに似て淡黄色且細長く、蜜管は *Trichospirina* のものと區別し易からず。觸角は五節よりなりて其第三節は第四節よりも僅かに長く、第四節と第五節の全部とは略等長にして、第五節の後半部と基部とは等長なり、全部薄黒くして第五節は特に黒し。宿主植物||ナラ。

採集時日||大正九年六月二日。

採集場所||宮崎縣飯野の山中。

十八、ゴシユケブカアリマキ (新稱) (第十八圖)

Thomastis tonita SHINJI n. sp.

特徴||體黒色にして觸角割合に長く且つ全部黒色なり、其第三節は最長にして凡そ十四個の小圓知覺孔を有し、第五節にもまた三個の小圓知覺孔其基半部に存在し、第六節の基半部は第五節の半と略等長にして、先端部は基部の略二倍半長し。蜜槽は薄黒にして其基部は先端の二倍だけ大なり。

宿主植物||ゴシユケ。

採集時日||大正九年七月二十五日及九年八月二十日。

發生地 靜岡縣堀の内、宮崎縣飯野。

附 記 本種は主に若き枝端乃至葉に寄生して葉面を收縮せしむ。

十九、シダトゲアリマキ (新稱)

Thomasia shida SHINJI n. sp.

特徴 體綠色を帯びたる淡黄色にして細長く、頭胸部は黑色なり。觸角の第三節は第四第五兩節の和と略等長にして凡そ八個の稍大なる小圓知覺孔を俱へ、第五節は第四節よりも僅かに短くして末端に近く一個の知覺孔を有す。蜜管は長幅略等しく黑色なり。

宿主植物 Ⅱ フシダ。

採集場所 Ⅱ 宮崎縣都城。

採集時日 Ⅱ 大正九年八月十五日。

二十、サンセウケアリマキ (新稱) (第十九、二十圖)

Thomasia sensho SHINJI n. sp.

特徴 體綠色を帯びたる黑色にして、前翅の斑紋には二條の黒線並行せるを見る。觸角は體よりも短くして各節の末端及び第六節は黑色なり、第三節は第四第五兩節の和と略等長にして凡そ七個の小圓知覺孔と四本の長毛

とを俱へ、第四節は第五節よりも長く、第六節の後半部は其前半部よりも僅かに短し。腹部の各節は黑色の斑紋を有し、蜜管及び後肢は全部黑色なり。

觀察 本種は主に幼枝に寄生す。

宿主植物 Ⅱ サンセウ。

採集時日 Ⅱ 大正九年六月十日。

發生地 宮崎縣飯野。

二十一、ヨメフリケアリマキ (新稱) (第二十一圖)

Thiotophrus yomefuri SHINJI n. sp.

特徴 體濃綠色にして黒斑を有し、觸角の第三節は體色なれども其他の部分は黑色なり。第三節は第四節よりも長く、第五節は第三節の半に過ぎず、第六節の後半部は基半部の約二倍半長あり。翅紋は黒くして美しく、前中、後腿節殆んど全部黑色を呈し脛節また黒し。蜜槽は黒くして梯形なり。

宿主植物 Ⅱ ヨメフリ。

採集時日 Ⅱ 大正九年七月三十日。

採集場所 Ⅱ 最野縣中城。